

平塚市防犯協会 防犯教育の取組

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）では、JSCが作成した事故防止・安全教育に資する資料の活用方法について幅広く周知し、資料の活用促進を図ることで、学校の管理下における事故防止の支援や、円滑な学校教育の実施に積極的に貢献するため、設置者・学校・地域等の防犯対策を取材してきました。

今回は、令和4年6月20日（月）平塚市立岡崎小学校にて行われた、紙芝居「はなちゃんのかえりみち～いかのおすし～」を使った1年生対象の防犯教育授業の様子をご報告させていただきます。今回の授業は、平塚市防犯協会様のご発案で行われました。

平塚市防犯協会 岡崎支部長の本多様から、紙芝居「はなちゃんのかえりみち～いかのおすし～」を使った防犯教室を行いたいとお話をいただきました。平塚市防犯協会では、例年地域のお祭り等様々な機会に防犯グッズの配布を行ってききましたが、その効果については常々疑問に思っておられ、児童生徒等の防犯意識に対してより効果的な方策を模索されていたそうです。そこでJSCで紙芝居を貸し出していることを知り、入学したばかりの新1年生向けに防犯意識を高めるための取組が何かできないかとお考えになったとのこと。学校に相談した結果、趣旨には大いに賛同いただきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大中の昨今の状況から、直接防犯協会の方が小学校に訪問しての講習会を行うことが難しかったため、岡崎小学校の学級担当の先生に紙芝居を実施していただくこととなりました。

実際に紙芝居を見た児童たちの反応を聞かせていただきました。

- ・不審者侵入対応訓練を実施した後だったので、真剣に聞いていました。
- ・紙芝居の朗読を聞いて、児童たちから「知らない人について行ってはいけないだね。」という声が聞かれ、「いかのおすし」を繰り返し言って覚えました。

また、今回の防犯教育の授業を行った先生方からは、1年生にもわかりやすい内容で、皆真剣に聞き入っている様子だったとのことをご感想をいただきました。



【資料】防犯対策紙芝居
「はなちゃんのかえりみち
～いかのおすし～」

紙芝居「はなちゃんのかえりみち～いかのおすし～」は、電子紙芝居のデータも公開されており、電子黒板等での投影も可能で、コロナ禍においても活用しやすい資料になっています。

また平塚市防犯協会では、今回の取組が防犯教育の好事例として市内の他支部にも紹介される予定だそうです。岡崎支部長の本多様からは、「今回、JSCの安全支援業務を知れたことは大きな収穫です。今後も機会があるごとにこの安全支援業務の存在を周知していきたいと思っております。」とのことをお言葉をいただきました。

これまでJSCでは、設置者・学校・地域の防犯対策を取材してきました。子どもたちが危険な目に遭ったとき、冷静に判断し、勇気を出して行動する力の大切さに気付くことが大切です。たとえ小さなことでも、繰り返せば必ず大きな成果を得ることができます。安全教育を通して、子どもたちの輝く未来をつくっていきましょう！

<参考資料>

[防犯対策紙芝居 「はなちゃんのかえりみち～いかのおすし～」](#)